



2023年6月30日

各位

上場会社名 興 研 株 式 会 社  
 代 表 者 代表取締役社長 村川 勉  
 (コード番号 7963 東証スタンダード)  
 問 合 せ 先 取締役経理部長 長坂 利明  
 (TEL 03-5276-1911)

## 第2四半期(累計)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年2月10日に公表いたしました2023年12月期第2四半期(累計)の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2023年12月期第2四半期連結業績予想数値の修正(2023年1月1日~2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,300	百万円 390	百万円 380	百万円 260	円 銭 52.62
今回修正予想(B)	5,230	540	530	380	76.91
増減額(B-A)	△70	150	150	120	
増減率(%)	△1.3%	38.5%	39.5%	46.2%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年12月期第2四半期)	4,937	512	507	355	71.36

#### 2. 第2四半期累計期間の業績予想の修正の理由

今年に入りコロナ新規感染者数は減少に転じたものの、感染対策用マスクの4月までの販売数は、予想以上のペースで推移し、また産業分野では、6月1日からの一部製品の価格改定に対する前倒し受注が発生しました。一方で、オープンクリーンシステム「KOACH」の大型機種納期がユーザー様の都合で先送りされたことにより、全体の売上高は、ほぼ期初予想の数値に留まる見通しです。

当社では、原材料価格高騰の影響を最小限に抑えるため、生産効率の向上並びに経費削減などコスト全般の見直しに注力しております。当第2四半期累計期間においては、感染対策用マスク及び産業向けマスクの受注増によって稼働率が向上したこと、また取り組んできたコスト見直しの成果が徐々に実り始めたことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、期初予想を上回る見通しとなりました。

なお、感染対策用マスクは、年初から受注残を抱える状態が続きましたが、5月末には完納し、足もとの稼働状況としては、ほぼ平時の水準に戻っております。現在、第9波への懸念が広がっており、今後も需要増減の変動に応じた機動的な生産対応が求められます。このようにコロナ禍が続く状況においては不確定要素が多く、その見極めも困難であるため、現時点での通期連結業績予想の修正は行いません。

(注) 本資料に記載している業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上